

2023年11月7日

各位

会社名 株式会社東京通信グループ  
 代表者名 代表取締役社長CEO 古屋 佑樹  
 (コード番号：7359 東証グロース市場)  
 問合せ先 取締役 CFO 赤堀 政彦  
 (TEL. 03-6452-4523)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2023年2月13日に公表した業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	30	10	△110	△22.27
今回修正予想 (B)	6,100	△210	300	△340	△34.03
増減額 (B - A)	100	△240	290	△220	
増減率 (%)	1.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	5,071	△54	△45	△265	△53.7

#### 2. 修正の理由

売上高につきまして、メディア事業にて国内・海外のカジュアルゲーム、インセンティブゲームが引き続き好調であり、プラットフォーム事業についても電話相談サービスが堅調に推移いたしましたことで前回発表を100百万円上回る見込みとなりました。

一方で、営業利益につきましては、立ち上げ途中の新規事業の人件費・広告費が先行していること及び、既存事業の選択と集中のための事業整理を行った影響で当初計画と比べて利益が110百万円減少しました。

また、一時的な費用として、本日公表した株式会社テトラクローマの株式取得にともない、デューデリジェンス費用や仲介手数料等の費用が45百万円、自社開発の推進とグローバル拠点の獲得

を目的として子会社化した「TT TECH co., ltd. (旧 Seesaa Vietnam co., ltd.)」のれん償却を即時費用化することによる影響が 30 百万円、上記子会社を含む当社グループ全体の業務システム・雇用制度の統合のための費用として 55 百万が発生することとなりました。

以上の理由により、営業利益は前回発表を 240 百万円下回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、子会社である BASE Partners Fund 1号投資事業有限責任組合の保有株式の売却にともなう投資有価証券売却益が 550 百万円発生することにより、前回発表を 290 百万円上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、180 百万円を見込んでおります。

投資有価証券の売却により発生する売却益は 550 百万円（うち親会社持分 20 百万円、非支配株主持分 530 百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は 340 百万円となり、前回発表を 220 百万円下回る見込みとなりました。

以上